



先夜は出清談
入鹽ハ方ハ吾ハ元
法不決令兄

手曲出語有之
敬順之診脈ヲ
承知ハ何ハ分ハ神

渴開開定而酌
治之方ハ必ハ之ハ所
乍然内證免マ

アレ角ニてシイハし
暑氣ハ引キ出ス事
故假使不對證

先香葉飲六
和湯用度有
其勢ハ病勢上ニ

向カ下ニ向カ外ニ
之カ内ニ之カ湯ヲ
飲スルカ涼ヲ飲スルカ

開キ飲スルカ将シ急ニスルカ
情機發現有
左モナ干内ハ上ヲ

治セントスレハ下ヲ
遺シ下ヲ攻ムト
之ハ上ヲ好ケ

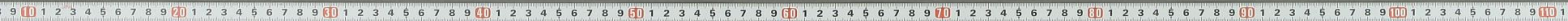
治ス施スホト
彼此ニ礙ヲリテ
禁カシテ功ナキカ

余不診 其實ヲ
不得ト雖先差ト
カ八ハ証ニテナルハ

後ニ通テ查ス之ヲ
コト現テ病増情機
ヲ觀ルハハ有リ

七月朔

安策 船石あ





石田文正

先夜は出清談
入鹽ハ方ハ吾ハ元

法不決ハ今ハ元

手ハ由ハ法ハ詔ハ有ハ之

敬順ハ診ハ脈ハ三

承知ハ何ハ分ハ補

渴開閉ハ定ハ而ハ酌

治ハ之ハ方ハ之ハ所

乍ハ然ハ内ハ證ハ免ハ毛

アハ角ハえハしハいハし

暑氣ハ引ハ出ハ事

故假使ハ不ハ對ハ證

先香ハ菓ハ為ハ飲ハ六

和湯ハ用ハ度ハ有

其ハ中ハ之ハ病ハ勢ハ上ハ三

向ハカハ下ハ三ハ向ハカハ外ハ三

之ハカハ内ハ三ハ之ハカハ向ハ湯ハ三

欲ハスハルハカハ涼ハ三ハ欲ハスハルハカ

開ハ欲ハスハカハ怪ハ三ハ欲ハスハルハカ

情機ハ發ハ現ハ上ハ有

左ハモハナハ干ハ内ハハハ上ハ三

治ハセハンハトハスハレハ六ハ下ハ三

治ハセハンハトハスハレハ六ハ下ハ三



之カ内ニ之カ得
欲スルカ治ラシ欲スルカ
開ク欲スルカ得ルカ
情機及發現上有
左モナキ内ハ上
治セントスレハ下ヲ
遺シ下ヲ攻ムト
スレハ上ヲ好ケ
治テ^④施スホト
彼此ニ礙ヲリテ
禁カシテ功ナキカ
余不診 其實ラ
不得難先急ニ
カハ八詠ニテナル
後ニ通套之ヲ
可與テ病増情機
ヲ觀ルカ有
道ナク又

七月朔

安樂 般石あ

七月朔の度